

青少年委員だより

未来を生きる江戸川区の子どもたちのために

第150号



こころ豊かにたくましく

江戸川区教育長 斉藤 猛

区内7地区61名の青少年委員の皆さまが各地域において健全育成活動にご尽力くださっていることに敬意と謝意を表します。

今年には全国各地で記録的な猛暑が続き、大雨や台風にも見舞われました。そのような中でも青少年委員の皆さまが地域や学校における様々な行事でご活躍いただく姿を区内各所で拝見いたしました。まさに地域で子どもを愛し、見守りながら育ててくださった皆さまの活動の一つひとつが、子どもたちの健やかな成長を支え、地域を愛する心を育むものと、日々実感しております。

いよいよ2020年の東京オリンピック・パラリンピックまで2年を切りました。カヌー・スラローム競技が開催される葛西臨海公園の隣接地では、日本初の人工競技場建設の真つ最中です。世界一流の選手の活躍に触れる貴重な体験によって、世界を肌で感じるとともに、区民一人ひとりが大きな夢と目標を持てる絶好の機会と期待しております。

今、日本人の平均寿命は男性が81.09歳、女性が87.26歳と公表されています。今日生まれた子は2100年の世界を生きることとなります。私は80年後のその日を生きる子どもたちのために教育長の職にまい進してまいります。

私の好きな言葉は「ありがとう」です。日々、健全育成に尽力されている青少年委員の皆さまに「ありがとう」と心から感謝申し上げますとともに、どうか未来を担う江戸川区の子どもたちが「こころ豊かにたくましく」成長できますよう、学校と青少年委員の皆さまとの連携をさらに密にし、地域・家庭・学校で子どもたちを健やかに育んでまいります。

今後ともご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成30年度 東京都青少年委員会連合会総会・講演会

平成30年5月26日(土)国立
オリンピック記念青少年総合
センターにて東京都青少年委
員会連合会(以下都連)総会
が開催されました。

前年度の活動・決算・会計
監査報告、役員改選が行われ、
大谷誠会長(江東区)が承認
されました。また、今年度の
活動計画及び予算の承認がな
され、都連総会議長である江
戸川区青少年委員会川島会長
の議事進行のもと無事に総会
が終了しました。

総会后、T.I.U. 総合
探偵社の代表であり、NPO
法人ユース・ガーディアン代
表理事の阿部泰尚氏をお迎え
し、「『いじめと探偵』5千件の
相談からみるいじめの実態」
今おとなに伝えたいこと」と
題したご講演をいただきました。



教育現場に携わる方を始め、
様々な方が頭を痛めている問
題です。時代性が問われるこ
とも多々ありますが「人を敬
う心」は時代を問わず変わら
ないものではないでしょう。
青少年委員活動を通じて伝
えていきたいことを再考する
一日になりました。
(文責・小岩地区 大和徹雄)

お寺に泊まろう
2018

梅雨入り間もない平成30年
6月9日(土)10日(日)に
中央地区部会の大きな行事で
ある「お寺に泊まろう!20
18」を実施しました。

開催当日は梅雨時とは思え
ないほど晴れ上がり、子ども
たちの熱中症の予防のために
適度な休憩や水分補給を心掛
けるなど、過去の経験とは違
う対応を迫られました。

子どもたちは植物観察を題
材にしたビンゴゲームに熱中
し、お寺への到着が遅れるこ
とになってしまいました。そ
れでも、境内見学・スケッチ
野外炊飯・鐘撞きは12名全員
が体験でき、夜には肝試し・
ボンファイヤー、そして宿泊
へと一日目が終了しました。

二日目は前日とうって変わ
って空模様は怪しくなったた

め、境内清掃・炊飯終了後
は室内にてクラフト作成とボ
ッチャを体験。ボッチャはグ
ループ対抗戦を行い大いに盛
り上がることができました。
当初は4月に日帰りのプロ
グラムで計画したのですが中
止となり、参加希望の保護者
や善養寺のご住職からの励ま
しを受けて開催に漕ぎ着ける
ことができました。
素晴らしい仲間づくりがで
きたことも収穫の一つです。
(文責・中央地区 関清孝)



小岩・善養寺に泊まって

フクドキ体験!

中学生と赤ちゃんのふれあい

体験に協力

東部地区部会の取り組みとして協力している共育プラザ南篠崎の「中学生と赤ちゃんのふれあい体験」が7月3日（火）から6日（金）の4日間行われました。

毎回たくさんのお母さんと赤ちゃんにご協力いただき、今回も中学生たちは貴重な体験ができたようです。

中学生たちは将来子どもを授かった時のことを思い、お母さんたちは自分の子どもの未来の姿を想像しながら、ふれあえたのではないのでしょうか。

最後に中学生が家庭科の時間に手作りした、タオルでできた犬のお人形をプレゼントして終了となりました。



お別れの時間には泣き出す赤ちゃんもいて、中学生たちも離れがたかったようです。

私たち青少年委員は参加している皆さんがうまくコミュニケーションに協力しました。

毎回感動が生まれるイベントに関わることができて嬉しく思います。

（文責・東部地区 萩原佐智子）

なごみの家との交流会

未来を担う人づくり研究グループは子どもの居場所を考察し、すくすくスクールについて学び、新たになごみの家を研究課題に加えました。

7月22日「なごみの家瑞江」への訪問が実現しました。これまで定例会研修や地区委員会等の研修の場でなごみの家については学んできたつもりでした。しかし実際に訪問すると、違った一面を見ることができました。そこへ通う子どもたちと会話をしゲームや宿題を一緒にするなかで、すくすくスクールとは別の居心地の良さ、安心感を感じました。

スタッフの方々による事業紹介と施設紹介、日常の活動の様子をご紹介いただきました。

「なごみの家瑞江」は小・中学校が近くということもあり、子どもたちが多く集まりました。



放課後や学校のお休み時の新たな居場所として、とても興味深い素晴らしい施設でした。

今後は他のなごみの家も訪問し、安心安全な子どもの居場所について学びたいと思います。

※「なごみの家」とは年齢や障害の有無に関わらず、誰もが相談でき、気軽に集えるまちの福祉拠点です。区内8カ所に開設しています。

（文責・東部地区 大橋一成）

「キャンプでも大活躍！火おこし体験」

毎年夏休みに青少年委員会葛西南地区部会では、地域の「臨海小すくすくカレーパーティ」や「第七葛西小すくすく夏まつり」において『火おこし体験コーナー』を担当しています。

青少年育成葛西第二地区・清宮委員長手作りの火おこし器を使った体験に、初めての子どもたちは期待に目をキラキラさせてチャレンジします。細い木の棒を回転させ、下に置いた板との摩擦熱で火種をおこすのですが、これがなかなか根気のいる作業です。猛暑の中、風に背中を向け、汗をいっぱいかきながら必死に棒を回転させ続けますが、煙がモクモクと出てきても火種はなかなかおきません。板にたまったわずかな火種を、ほぐしておいた麻ひもにくる



んで空気を含ませると、「着いた！」と大きな声が…感動の一瞬です。自分でおこした火を使って作ったカレーは特別な味がしたよね！ いざというとき、今日のこの体験が少しでも役に立ってくれたら嬉しいです。(文責・葛西南地区 木下眞理子)

第41回 江戸川区民まつり

平成30年10月7日(日) 真夏のような暑さと晴天の中、篠崎公園にて第41回江戸川区民まつりが開催されました。

青少年委員は7つの広場に分かれ「ポイントゲッター」を実施しました。ポイントゲッターとは、会場内の広場を回るスタンプラリーです。クイズに答えてポイントを集めるとたくさんのお土産がもらえます。

8時30分に集合し、石川(祐)実行委員長の掛け声で気合を入れスタート。地区部会ごとにそれぞれのポイントに散りました。各ポイントでは地区部会お手製のヒントを使用したクイズを出し、正解者にはカードにスタンプを押しまし

た。総数で856名に参加していただき、皆さま景品を手笑顔で帰られました。

大盛況の区民まつりの一面でたくさんの方の喜ぶ姿に触れ、区民の皆さまのパワーを感じた一日でした。

(文責・東部地区 塚原安希津)



ポイントゲッターで

笑顔をゲット

7月定例会

平成30年7月20日（金）グリーンパレスにおいて、「オリンピック・パラリンピックと地域・青少年委員への期待」をテーマに江戸川区オリピック・パラリンピック推進担当課の吉澤課長にご講演いただきました。

前半は過去のオリンピック開催国の記録や開催国独自のテーマをどのような表現したか、パラリンピックがどのような盛り上がりを見せたかを紹介いただきました。

後半では江戸川区葛西で現在建設が進む、カヌー・スラローム会場の紹介や行政・カヌー協会のカヌーを通じた活動の様子、そしてボランティア等を通じた参加方法などが紹介されました。

オリンピック・パラリンピックに向けて



今後、青少年委員としてどのようにオリンピック・パラリンピックと関わり、そしてより多くの子どもたちに楽しんでもらえるかを考えるよい機会となりました。

（文責・鹿骨地区 大貫圭介）

小学校長会地域連携部との意見交換会

平成30年9月21日（金）江戸川区小学校長会地域連携部の12名の校長先生をお招きして、意見交換会を行いました。

研修の目的として「青少年委員の活動を理解していただく」「青少年委員として何ができるか、どのような連携ができるか」という内容で話し合いをしました。

地区部会ごとのグループに分かれて校長先生は1〜3名ずつ入っていただき、青少年委員会のリーフレットや青少年委員だよりを利用して活動内容を説明させていただきました。どの部会も和やかな雰囲気の中、十分な意見の交換ができました。

私たち青少年委員の活動は多岐にわたりますが、まだまだ知られていない部分もあると感じました。

今回の意見交換会を通して、青少年委員と学校が今まで以上に近づくことができたのではないかと実感しました。

（文責・東部地区 横井由美）



9月定例会

第43回江戸川区花火大会に従事して

平成30年8月4日(土)「エキサイティング花火2018」が、例年のとおり江戸川河川敷において行われました。

青少年委員は午後4時に集合し、早い夕食を済ませて警備の準備をしました。今回の担当区域は、篠崎街道上です。車の交通規制後からとなります。

定刻の午後7時15分オープニングは、5秒間に1000発の花火が始まりました。見ている人たちからの大きな歓声に包まれ、いよいよ始まったのだと思うと同時に、花火に見とれて歩いている歩行者の安全に注意を失くすとはと改めて思いました。

花火は、大輪や仕掛けなど音も色も大迫力でした。

花火大会終了後は、河川敷から一斉に帰路へと、道路が人・人・人で溢れてしまいました。「左側通行でお願いします」と呼びかけながら歩行者の安全に努めました。

無事に終り、江戸川区の大きなイベントの一つであります「江戸川区花火大会」に関わられたことは、大変光栄に思いました。

(文責・鹿骨地区 大和田静枝)



大工さんに挑戦!

平成30年5月6日(日)子ども未来館で、子どもたちに人気の恒例行事「大工さんに挑戦」が行われました。今までは青少年委員会が運営を行っていましたが、今年度から社団法人江戸川建設業協会に運営を引き継ぎ、青少年委員としてはサポートにまわりました。

上手に道具を扱える子、そうでない子とさまざまですが、本職の大工さんの指導で楽しい一日となったと思います。



(文責・東部地区 鷺尾斎)

城東ブロック研修大会に参加して

9月29日(土)東京都城東ブロック青少年連絡協議会研修大会が江東区の「ティアアラこうとう」で開催されました。

今回の研修テーマは「パラリンピックを応援しよう!」と題し、東京都障害者スポーツ協会地域スポーツ振興課の藤田勝敏氏の講演を拝聴し、パラリンピックの抱える問題点や課題について学びました。

そのあと近くにある都立科学技術高等学校に移動し、ボッチャや車いすに座って行うカローリングという氷上で行うカローリングをフロアでできるように考えられたスポーツを体験しました。

新委員紹介



まとうてるよし 佐藤晃嘉
葛西北地区部会 (葛西第一)
平成30年7月1日委嘱

そして「ティアアラこうとう」に戻り各区の委員たちと親睦を深め研修大会の一日が終了しました。
(文責・葛西北地区 米川和則)



今号は、広報部の新メンバーによる初めての本格的な紙面づくりとなりました。

次号以降もよりよい紙面を目指して、広報部員一同、まい進していきますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。 広報部

青少年委員だより

発行 江戸川区青少年委員会
編集 広報部
連絡 江戸川区文化共育部

健全育成課青少年係
☎ (五五六二) 一六二九